

古河総合公園でくつとく情報2009年9月号さわやか散歩



ドングリころころ

古方様の森には、コナラやクヌギなどドングリのなる木がたくさんあります。写真右のドングリはクヌギ、左はコナラです。森の中でドングリを見つけたら、ぜひ上を見上げてドングリのなっている木を確かめてみてください。葉の形や幹の肌の感触を覚えてね。他にもドングリのなる種類の木がありますから、探してみてね。



(2)

公園の中央に位置する虚空蔵様と桃林との境界に、今年もヒガンバナの花茎が出てきました。ヒガンバナはちょうど彼岸の頃に咲く事から彼岸花といわれますが、実は他にも名前がたくさんあって、一説には日本で一番名前の多い植物と言われています。昔から田んぼや墓地の境界などに植えられ、里の秋を代表する花です。この公園で火炎のように咲き誇る妖艶な花をお楽しみください。

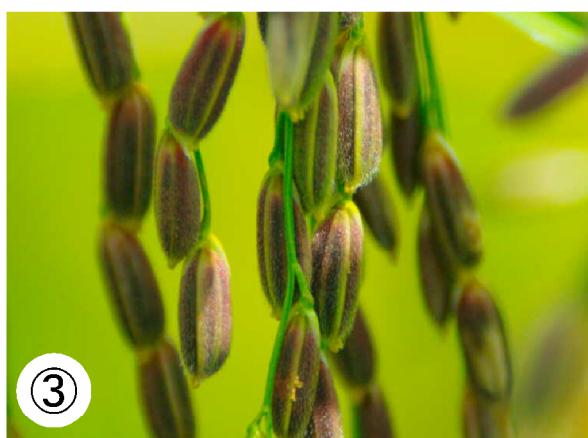


(1)

ホツツケ田

の黒い稲穂

ホツツケ田では、今年も「どろんこクラブ」が育てて大きくなった稻が、重そうに穂を垂らしながら実っています。この稻穂よく見ると何だか黒っぽいのに気がつきませんかそれは、このお米が黒米（くろまい）だからです。黒米は古代米とも言われ赤米や紫米などと共に古代の日本で栽培



(3)

されていたお米と言われています。どろんこクラブでは9月下旬に稻刈りの予定です。



(4)

秋の七草の一つです。

この花は、何だかわかりますか。秋の七草の一つで、クズの花です。夏から秋にかけてご覧のように、あでやかに花を咲かせるクズですが、その旺盛な繁殖力から、公園の管理にとっては厄介者の一つです。外国では最初は緑化のため日本から移植されました。今では侵略的外来種に指定されているほどです。日本では昔からその強いツルを農作業に用いたり、クズの根を精製して葛粉を作ったりして利用してきましたが、近年になると利用されることもなくなりはびこる一因となっています。



(5)

芋ころがし坂のハギ



古河総合公園

上記記事 出典参考: フリー百科事典『ウイキペディア (Wikipedia)』